

14 堀川の堀留

開削当時の堀川は、今の朝日橋の所で堀留になっていた。天明4年(1784)に大幸川が堀川につなが換えられることにより、今の堀川に近い姿になった。堀留の跡には、由来碑が建てられている。

15 大吉楼 夕景

幕末の安政7年(1860)に、長畝(朝日橋～景雲橋の東岸)にも桜が植えられた。今の小塩橋付近にあった大吉楼では、桜を背景に帮間・芸者をあげて春の一時を楽しんでいる。(名府之里)



16 景雲橋での荷揚 (大正期)

物揚場には舁から陸揚げした土管や大きな瓶が置かれている。天秤棒で運んでいるのは石炭だろうか。手前の船頭さんは着物姿だ。堀川岸にたくさんあった物揚場では、日々このような光景が繰り広げられた。(瀬戸蔵ミュージアム蔵)



17 五条橋上流の堀川

大正から昭和初期の風景。写っている橋は、木製アーチ橋だった頃の五条橋だ。水深が浅く岸近くは川底が露出している。何艘もの舟が船底を擦らないか心配になる。東岸には薪様の物がうず高く積み上げられ、西岸には家が建ち並ぶ。今では想像もできない風景だ。

18 木製アーチ橋の五条橋 (昭和11年撮影)

五条橋は明治34年の架け替えで木製アーチ橋になり、昭和13年に今の橋へと変わっている。アーチの向こうには、昔ながらの木造家屋とともに、左には鉄筋らしい建物も見られる。その横には自転車の脇に番傘が干してある。昭和初期の空気が感じられる風景だ。(名古屋都市センター蔵)



19 桜橋の架橋

名古屋駅が笹島交差点近くから今の場所に移転するのに合わせて桜通が造られ、昭和12年に桜橋が完成している。写真は橋台を築いているところ。重機は見当たらず、人力施工が多かったようだ。奥に見える橋は伝馬橋で、河岸にはびっしりと舟が係留されている。(名古屋都市センター蔵)

